

私の目で見た中国の変化

——解放後の中国の社会と経済——

崔 玉華

はしがき

中華人民共和国は日本との戦争が終わって4年後の1949年10月1日に誕生した。私は同じ年の1949年11月21日に北京市の東の郊外通州区宋庄镇小堡村(注①)に生まれ、祖国とともに成長して、今日に至った。それは、激動の時代であった。新しい社会に生まれ変わる「生みの苦しみの時代」であった。中国の変化は、私自身の「家」の変化でもあった。私は次の6つの項目について、自分の「家」及びその周辺の変化を紹介し、解放後の中国の社会と経済について、自分の視点から論じて見たい。

1. 食糧事情
2. 資産状況
3. 肉食
4. 服飾
5. 家庭設計
6. 冠婚葬祭の祝儀の金額

1. 食糧事情

米を数えて炊く時代から海の幸、山の幸がなんでも食べられるようになった時代への変化

米を数えて炊くという言葉を知ったら、読者は「まあ、お米がまだある

のかな。」と思っておられるであろう。実は私が10歳になった1959年、私のうちには米がひと粒もなかった。どうしてなのであろう。何を食べていたのであろう。などと読者はきっこうした疑問をお持ちになったかと思う。

1959年、私の村、宋庄镇小堡村の人口は1000人ぐらいで、4つの生産隊に分かれていた。1958年の大躍進の浪に乗って、村には4つの食堂が作られ、村の老若男女はこれらの食堂で食事をするようになった。

村人はこれから共産主義における共同生活をするにあたり皆協力し、家にある家財道具、共同で使えるものの全部を人民公社に無償で提供した。幼い私の記憶を辿る時、部屋には衣類の箱の他には何も残されていなかった。これまで私の家にあった大きな正方形の机、正方形のベンチ、長ベンチなどの家具、いろいろな農具、食器、食糧も全部提供してしまったからである。箱や引き出しに付いていた銅製の取っ手さえも提供してしまった。

そして私たちは、新しい生活に入ったのである。毎日朝は人民公社の食堂で豆乳に油条あるいは油餅を食べ、昼はおかずを四種類、スープ、ご飯、饅頭、花巻饅頭などいろいろ食べた。夜になるとお粥に肉饅頭、漬物を食べた。この他、人民公社の社員（農民）は畑で配布される緑豆のしるこ、ソーダ水（サイダー）などを飲み、学生は学校で午前10時ごろと午後3時ごろに配られたお菓子、キャンデーを食べた。幼稚園の子供たちの食べる物はもっと豊かであった。

このような生活は生まれて初めての経験であった。記憶を辿ると、人民公社の食堂で食事をする前には、母と一緒によく村から1キロぐらい離れた町へ行き、長い行列が出来た米屋の前の列の後ろに並んで、ジャガイモを買ったことが思い出されてくる。何日も何日もジャガイモと漬物だけの毎日が続き、ジャガイモを見るのも嫌になったことを覚えている。

人民公社の食堂で食事を取るようになって、皆がお腹一杯になり、嬉し

くてたまらなかったことは忘れられない。大人たちはどう考えていたのか分からない。だが、幼い私たちは、あの日以来、「吃饭进食堂，穿衣进衣店，不愁吃不愁穿，我们的生活多美满（何か食べたくなったら食堂へ行き，服を着たくなったら服装屋へ行き，衣食に困らなくて，私たちはとても幸せな生活を送ることができるようになった。）」と毎日皆口ぐせのように歌っていた。食堂では好きなだけ食べられた。だが，このような生活は決して長くは続かなかったのである。

秋になると老若男女とも，間食どころか，食べられる物がだんだんと少なくなり，食べられる量も制限されるようになった。

畑へ行くことができる大人たちは，朝食はお粥1杯ととうもろこし団子の半分，昼食は一つのとうもろこし団子と1種のおかず，夕食になると，一つのとうもろこしの団子と野菜のスープが1杯配られるだけとなった。子供と病人と高齢者はその1/2に過ぎなかった。

お粥は米粒がごく少なく，1杯50gの米と言われていたが，実はその中には米はほとんどなく，とうもろこし団子は一つ100gぐらいと言われていた。スープには玉子などほとんど見られなかった。

同年冬になると，とうもろこしの団子もなくなった。そして，毎日，「増量法」の団子と野菜入りのお粥を食べていた。「増量法」というのは，とうもろこしの芯を水につけて，柔らかくしてから，臼で挽いて，とうもろこしの粉と一緒に混ぜて作った団子のことである。

このごろから生活様式も変わった。皆，食堂で食べなくなり，食堂から食べ物をお家に持ち帰って，食べるようになったのである。私の家は食堂で1日分に小さい団子9つとお粥を3.5杯もらうだけであった。もちろんこれだけでは，一家5人がお腹を満たすことができなかったのである。弟は幼稚園で食べていたが，このような食糧事情から幼稚園の先生は子供たちに次のようなことを教えていたのであった。

ある日，弟を幼稚園へ迎えに行き，弟に「福ちゃん，お腹いっぱい食べ

た？」と聞いた時の事である。「先生は一杯食べたと言った。」と答えてくれた。「先生は一杯食べたと言ったが、福ちゃんは？」と聞いて、「お腹まだ半分。」と答えが戻って来た。「じゃ、どうして正直に言わなかったの。」と聞いたところ、「だって、先生は『家の人に聞かれたら、必ずいっぱい食べたと答えてね。』と教えてくれたから。」と言ってくれた。なぜ物を教える立場の人がこのようなことを子供に言うのかと私は腹がたったが、そのときの事情から、先生の気持ちも分からないではなかったのである。あの時代はそんな時代であった。

当時、私には1人の弟と2人の妹があった。まだ10歳であった私は彼らにひもじい思いをさせたくなく、自分の食事の中からすこし削り、隠しておいて、夜、こっそりと幼稚園から帰ってきた弟に食べさせた。弟もそれを楽しみにしていた。私は母親以上のことはできなかったが、これが精一杯私のできることであった。だが、その頃から私は見る見るうちに痩せていった。

ある晩私は自分の部屋で身体を洗っていた。当時、中国の農村ではほとんどの家に風呂は備え付けていなかった。風呂に入りたいときは、村から5キロ離れた町へ行かなくてはならなかった。公衆浴場では一回の入浴料は0.1元。でも90%の家には一文の金もなかった時代である。何か必要なものを買う時、例えば、春になって、鶏が卵を産んでからその卵で野菜などと交換をしていた。であるから、ほとんどの人は自分の家で洗濯用の大きな盥に温水を入れて、身体を洗っていた。

私が身体を洗っているところに、母がドアをノックして、「華ちゃん、母さんよ、入ってもいい。」と言って入って来た。私は「はい、お母ちゃん、どうぞ、背中を流して。」と答えた。

母は私がまだ小さかった時からずっとよく背中を流してくれていた。私は背中を流してくれる母の手はとても柔らかく温か味があると感じていた。母がその柔らかい手で軽く垢すりをしてくれたのである。私は本当に

嬉しかった。

その時突然、私は背中になにか冷たいものを感じた。それは母の涙であった。「お母さん、どうしたの？」と問う私に、母は、「もういいから早く服を着なさい。」と言っただけであった。

その時私はお母さんが私の身体を見て察してくれたのだと思い、心の中で手を合わせるように母の気持ちに感謝しつつ、継ぎはぎだらけのあわせの上着を着て、母と並んで、オンドルのへりに座った。

母は私の頭をやさしく撫でて、涙を流しながら私に次のように言った。「華ちゃんの背中を見ていると、母さんの涙はもう我慢できないのよ。華ちゃんは私のかわりに妹と弟たちの世話をしてくれているのね。いつも自分の食べる物を我慢して弟や妹たちに食べさせているでしょう。」と。

私はその時母の顔を見ながら、心配させまいと思って、「いいえ、そんなことはありません。」と軽い嘘をついた。

母は「福ちゃんたちはお姉ちゃんが食べさせてくれているのを私に教えてくれたのよ。子供は正直です。私は前から華ちゃんと話し合いをしたいと思っていましたが、なかなか忙しくて話すチャンスがなく、いまになってしまったのです。ほら華ちゃんの身体、こんなにも痩せてしまったではありませんか。私はあなたの身体を見るにつけ、身を切られるような思いがします。華ちゃん、母さんの話をよく聞いてちょうだい。これから華ちゃんの食事はちゃんと取りなさい。学校もあるし、発育盛りの時期だし、このままでは死んでしまいますよ。」と。母は胸の中から搾り出すように、目を伏せて言葉少なく、私にそう言った。

私は、母を心配させまいと思って、「大丈夫」と明るく答えたが、現実はまだまだ厳しくそんなものではなかった。私は、母はなんと子供の思いの優しい人なんだろうと感謝し、心の中で何度も何度も「ありがとう、お母さん。」と繰り返していた。

当時すでに汚職で塗れた人たちがいた。だが、そうした人を除いて、人々はみな同じような生活をしていた。飢えに苦しみ、餓死する人が後を立たなかった。毎日2、3人が亡くなっていた。正直に生きていた人たちは皆このような苦しみを味わっていたのである。

食糧が少なかった上に、役職を利用して不正を働く汚職の人も現れた。そして、遂に人民公社では食堂の経営が成り立たなくなり、解散せざるを得なくなった。食堂の解散はいつだったか覚えていないが、以後食堂からもらった食糧は高粱だけとなった。高粱を食べたせいで私は一週間ぐらい腹痛を起こし、便秘になってしまったこともある。トイレへ行ってもなかなか便が出ないある日、母は肛門から少しずつ取り出してくれた。私はいつものように母に何と御礼を言っていていいか分からなかった。私は餓死しても、もう二度と高粱だけは食べまいと思った。

寒くて長い冬の日には私と妹はよく白菜の根や、ある草の根を採り、地面に落ちた草の種を拾ったこともあった。

春が来て、野原に草木の芽が出るようになった時、植物を採って食べ始めた。それは、「つまみな、莧菜（ひゆな）、薺菜（なずな）、馬齒莧（すべりひゆ）、車前草（オオバコ）、赤い根の野草、白い根の野草、苦い野草、酸い野草などであった。ある植物、特にお墓のまわりに芽が出た植物は食べられないということを知らなかった人たちが飢餓と苦しみのあまり、それを食べ、中毒を起こし、亡くなった人もいた。

木の葉っぱも食べた。樹木も若葉が出始まるといつの間にか誰かに摘み取られてしまい、木も葉がなくなただの新緑の春を迎えたこともあった。

ある日、私も何か食べられる物がないかと思い、柳、ポプラ、榆の木を見たら、木の葉はもう全くなき摘み採られてしまったあとであった。私は仕方がなく、何かないかを見ていたら、にわうるしの葉がまだ残っていた。その葉を摘み採って、わずかばかりのとうもろこしの粉と一緒におかゆを作って食べたこともあった。だがそのお粥を食べた家族全員は顔がか

ぶれてしまったのである。中毒をおこしたのである。

当時、お米や小麦粉どころか、野菜をいれないとうもろこしの団子も食べられない状態になっていた。その一年間というものは、私の家族だけでなく、村の90%の人は皆餓死寸前の状態だったのである。

1961年から、食料はわずかばかり増えたが、やはりお腹は満たされなかった。

1970年代に入ってから、お腹一杯に食べられるようになったが、お米と小麦粉はまだ少なく、まだ栄養不良の人、虚弱な人がたくさんいた。

1980年代に入って、毎日一人に500gの食糧が配給され、そのころから、料理の味や栄養の質を追求するようになった。

1990年代になって、いままでの生活が少しずつ豊かになり、山の幸、海の幸を食べたいときに買えるようになった。

2. 資金状況

一文なしの時代から貯金がある時代への変化

農村では食堂の解散以後、1970年の半ばごろまで、毎月、食糧と僅かばかりの野菜、それに焚き木まで生産隊から無償で配布されるようになった。これら配給品は年末に精算することになったのである。生産隊に属する農民は毎日出勤し、畑で働いた。そして働き高に応じ、それに照応する「点数」をもらった。一年間働いた分を点数で精算し、家族で自由に使える生活費が支給されたのである。男性は最高1日10点、女性は最高1日9点であった。私の父は家族のために身体に鞭を打ち一日も休むこともなく出勤し、一年間に3600点ぐらい取り、母は子供の世話などをしながら出勤して一年間に2000点ぐらい取った。それだけ働いても、6人家族（父、母、弟1人、妹2人、私）で毎年赤字であった。赤字になったら、その分次の年に繰り越され、その年の暮れに精算するという仕組みであったから、私たちの生活は一向に楽にならなかった。

1961年の年末だったろうか。父は「華ちゃん、今日は『清算日』だよ。生産隊に行って来なさい。もしかしたらいいことがあるかもしれない。」と言ってくれた。その当時私は毎年両親に代わって「精算日」に出かけるのが普通になっていた。初めて出かけた時は、とても嬉しかった。両親に何か役に立つことが出来たと思ったからである。だが、毎回行くたびに、清算される生活費は、赤字ばかりで、そのうち行くのがいやになった。しかし父の言い付けを聞かなければ、親孝行の子じゃないと言われるのがいやで出かけた。

行くと生産隊の会計室の前にはもうたくさんの人が列を成して並んでいた。半時間ほどたって、私の番になった。会計員が「3.28元」と言ってくれたから、もうだめだと思い、帰ろうと思っているところへ、もう一度会計員が「華ちゃん、3.28元！」と言ってくれた。私は「はい」と答え、「もう覚えました。」という、「お金がありますよ。」と言ってくれた。「えっ、いただけるのですか。」私は一瞬自分の耳を疑った。「はい、そうですよ。」という言葉聞いて、私は嬉しさのあまり涙が頬を伝わるのを感じた。

私はこのわずかばかりの生活費を胸に握り締め、一気に家に帰って、両親に報告した。それは私たちの家族にとって大金だったからである。弟と妹たちも一斉に「見せてくれ、見せてくれ」と大騒ぎだった。父は「ああ、やっと赤字はなくなった。来年はもっと頑張らなくちゃ。」とつぶやいた。母は「お父さん、お疲れ様でした。」と言い、私たちも「お父さん、ありがとうございました。真面目に勉強し、大きくなったら親孝行します。」と口々に言った。

3.28元はわが家に春をもたらしてくれたのである。この年から我が家の家計は毎年少しずつ余裕ができるようになった。だが普段はやっぱ生活費が乏しく、母の話では1974年に私（注②）の手紙に返事を書きたいと思っても、切手代0.08元、便箋代0.01元を捻出する余裕がなかったとのこ

とである。父は家にあった破れた靴を集めてリサイクルショップに売って、やっと私に返事を書く資金を工面したとのことであった。

私は1974年から大学の教師になり、1978年5月1日に結婚して、自分の家庭を持つようになった。ちょうどうちの子が生まれた1979年から農村のほうでもいろいろな改革が行われ始めた。自由経営が許され、自由に職業を探ることができるようになった。1955年に生まれた上の弟は労働者になり、1963年に生まれた末の弟は専門学校に入学して、卒業後ペンキ屋になった。1952年に生まれた上の妹も1958年に生まれた末の妹も結婚し、兄弟姉妹は各自自分の家庭を持っているようになった。

こうして実家の生活も大きく変わった。今実家の母は父が1977年に過労死した後、末弟夫婦とその子供と一緒に生活をしている。母は収入がないが、5人の子供たちがそれぞれの自分たちの収入から出し合って、毎月1000元ぐらい小遣いとして母に渡している。私は毎月500元、長男は毎月300元、上の妹は毎月200元、2番目の妹は毎月100元、末弟はペンキ屋をしていることで毎月1500元ぐらいの収入が入っている。末弟の妻はビニール・ハウスで野菜栽培をしている。自分で栽培して、自分で売っているのである。家族の収入は決して安定しているとは言えないが、まあ少なくとも毎日新鮮な野菜を食べられることを喜んでいる様子である。末弟の子供は一人で、現在中学校に通っている。いま母の住む末弟の家の生活は村で中級ぐらいのレベルだと考えられる。

実家は北京市内から20キロ離れたところにある。かつては貧しい、農業だけの後れた農村であったが、その後村興しが行われ、みんなで協力をして、養豚業、養鶏業、鶏肉の加工場、果樹園、ビニール・ハウスを営むようになり、多角的産業経営が進んで、村の様子はすっかり変わった。

3. 肉食

肉食の消費量も、時代によって大きく変わって裕になった。年に1キロ

から、年に6キロ、年に20キロ、食べただけ食べられるという具合である。以下振り返っておきたい。

(3.1) 1959年から1964年まで： 1キロ／年の時代

この時代、1人に平均毎年1kgの肉が食べられた。だが私の家ではもっと少なかったように記憶している。まず1959年、1960年の2年間、私は肉を見たことがなかった。毎年年末に一人当たり250gの肉券をもらえたが、先に述べたように私の家は赤字であったため現金収入がなくて買えなかった。

1961年に我が家は赤字が解消したため、その年末に得た思い出の、あの「大金」3.28元から半分を使って、1kgの肉を買った。大晦日の日であったろうか、母がそれを煮ているところ、私を始め弟と妹たちはかまどのまわりに集まり「わあ、いいにおい、おいしそう.」、「お母ちゃん、まだできていないの.」と大騒ぎをしたのを覚えている。母は「もう少しでできるよ.」とにこにこしながら言ってくれた。

母は子供にお肉を食べさせることができて、嬉しかったのであろう。

肉料理が出来上がった時、弟と妹たちは出来上がった肉料理を早く食べたかったようである。だが、母は「ちょっと我慢して、お父さんが帰ったら、一緒に食べましょうね」と制止した。

私たち兄弟姉妹はみんなで父の帰りを待ち望んでいた。父はやっと夜8時ごろ帰って来た。待望の晩御飯である。

その日、母が工夫して作った料理は次のようであった。

「紅焼肉（肉の醤油煮込み）（赤色）」、

「炒胡蘿卜片（人参のうすぎりの炒め）（赤色）」、

「炒佛手（咸菜）塩漬けの蕪（かぶ）のせんぎりの炒め（醤油色だが、「佛」という言葉がある）」、

「炒雪里紅（セリホンの炒め）（緑色だが「紅」という字がある）」、

「金珠鸡蛋汤（とうもろこしの粉に水を入れて、粒粒になって、それから卵一個のスープ「金の真珠」という言葉がある）」、

主食は野菜を入れないとうもろこしの団子で、今でも忘れていない。これらが私たち一家の憧れていた最上のご馳走だったのである。

なんといってもすぐ食べたいものはやはりお肉であった。父は席についてから、すぐ「おう、肉、もう何年ぶりか、おいしそうだね、さあ、食べなさい。」と言いながら、箸の先で肉の汁をつけ、口に入れた。「ああ、ほんとうに美味しい。」と父は言ってから、私たちも父のまねをした。

このお肉は、その日から春節1日、2日、3日とずっと5日まで何度も暖めて、何度も汁だけ飲んで味わった。結局、誰も肉の塊は食べなかったのである。

5日の夜になって、「華ちゃん、あなたが先に、肉を食べなさい。そうしたら、妹と弟たちがまねをして食べるから。」と父は言ってくれた。私はその時両親の気持ちを痛いほど感じた。「お父さん、お母さんがまずお先にどうぞ。お父さんとお母さんが食べないなら、……」と、口籠もりながら、泣きながら言った。「あっ、そうか、そうしたら、お父さんからみんなに分けて上げよう。」と言って、父はもう小さくて硬くなった肉のかたまりをみんなに分けてくれた。その日の様子は今でもはっきり覚えている。

(3.2) 1965年から1975年まで： 6キロ／年の時代

この10年間、私の家では肉の消費量がだんだんと増え、平均毎月500gの肉が食べられるようになった。

だが、肉とは言っても、それは脂肪分の多い白身の肉であった。お肉を買ってきて小さく切り、それから暖めた鍋に入れて、油が全部出てしまってから油滓を取って、塩と山椒の粒を入れて火を止める。冷めてから果物の瓶詰めの空き瓶に入れ、少しずつ炒め物に使うのが普通であった。であ

るから油が少なく、時にはあの白身で練った油、いわゆるラードを食べたくて仕方がなかった。

ある日私は母に断って、大匙一杯のラードをラーメンにかけて食べた。今であつたら、ラードを思っただけで、全身の血液が濃くなるかと心配になるが、あの時は、言葉では表現できないほど美味しかったことを覚えている。私のせいで、家族は2日間漬物だけで食事にしたようである。大匙一杯のラードは二日間の炒め物の量だったからである。

(3.3) 1976年から1984年まで： 36キロ／年の時代

この10年来、私の家では毎日平均100 gの肉が食べられるようになった。白身がだんだん少なくなった上、政府からの伝達で、植物の油、例えば、蓖麻子油、菜種油、向日葵油、大豆油、落花生油、ゴマ油などから、毎月1種類の油を1人当たり250 g買えるようになったからである。炒め物はほとんど植物の油を使うようになった。

(3.4) 1985年から現在まで： 好きなだけ食べられるようになった時代

1985年以来私の家ではいろいろな食肉を食べたいとき、買えるようになった。白身の肉はほとんど食べなかった。そして肉を煮る時に出来たラードは、全部捨てるようになった。息子も私たち夫婦の影響で白身のついた肉を食べなかった。これが習慣となって、3ヶ月間幼稚園へ行かなかった。

それは1985年5月、息子がもうすぐいて満6歳の時になることだったろうと思う。ある日、息子はどうしても幼稚園へ行きたがらなかった。そのわけを聞いたら、次のようなことを言ってくれた。自分は白身の肉が嫌いなのに、幼稚園の先生に何度も食べさせられた。だが、自分は食べてすぐトイレに行って、吐き出した。幼稚園には友達がたくさんいて楽しかったが、白身の肉を食べさせられる先生がいたために、行きたくなくなったの

だそうである。この年の9月に小学校に入学するから、私は息子のわがままを許して、3ヶ月家にいたのである。

4. 服飾

ここ50年間のうちに服飾生活も大きく変化した。「昨日の綴れ、今日の錦」といってよいものである。

(4.1) 1959年から1964年まで： 一枚／年の時代

私は1957年9月に小学校に入学した。新しい服は入学式の日しか着せてもらえなかった。入学式の次の日、私は気に入った新しい服を着て出かけようとしたら、「華ちゃん、その服、ちょっと大きいから、着替えなさい。春節のとき、身体も大きくなっているだろうから、また着なさい。」と母に言われて、着替えた記憶がある。

私は小学校に入ってから、一年に一枚新しい洋服を着ることができるようになったが、弟と妹たちは可哀そうに、いつも古くてつぎだらけの服を着ていた。私はよく母やおばたちの小さくなった服や、彼女たちの服を作り直して着たものである。私に小さくなった服は妹に、妹に小さくなった服は弟が着た。であるから弟はいつも女性の好きな花模様の服を着ていた。彼は与えられた服が嫌でも、着なければならなかった。夏になると、服を着るよりむしろパンツだけで遊んでいたことを記憶している。

(4.2) 1970年から1979年まで： 4枚／年の時代

私は1970年に北京清華大学に入学した。大学に入るとき、父は年末に売るつものの豚（60キロぐらい60元ぐらい）と10何匹の兎（1匹2元ぐらい）を売って、80元ぐらいの資金をつくり、母に渡し、「華ちゃんの入学の仕度をしてあげなさい。」と言ってくれた。

母はこの資金の中から白い布を30mぐらい買った。白い布は当時安く、

好きな色に染めることができたからである。白い布は1 m当たり1元であった。これに対して、花模様のついた布、あるいは色のついた布は1 m当たり2元ぐらいもした。であるから、染料と白い布を買ったら、資金が半分ぐらいで済む。母は白い布を買ってからすぐ、「華ちゃん、何色が好き？」と聞いた。「紺色、緑色が好きよ。」と答えたら、母は10mの白い布を一部分紺色に、一部分緑色に染めた。それから私を連れて、義理の叔父のところへ行って、制服を作るため、寸法を量った。

制服を作るということは、私の家族にとって有史以来、初めてのことであった。私は感動した。その時母は上着2枚、スラックス2本、敷布団、掛け布団をそれぞれ一枚ずつ作ってくれた。これらを見て私は両親に感謝の気持ちで一杯になった。妹と弟たちの新しい服はやっぱり春節になるまで待たなければならなかった。

だが、1970年代に入ってから、旧暦の1月1日には、皆新しい上着と新しいズボンが着られるようになった。それから夏になると、普通6月1日（国際児童デー）に新しい夏着を買ってもらえるようになった。

（4.3）1980年から1989年まで： 食生活もよくなったように、服飾にも変化が現れた。この頃になると、四季おりおりの服が着られるようになった。

1980年代に入ってから、つぎはぎだらけの衣服は私の家から消えていった。結婚した私の家もそうであったし、実家もそうであった。収入が増えるにつれ、高級な服は買えなかったけれども、花模様のついている布を買って、仕立ててもらったり、自分で作ったりすることができるようになった。それだけでなく、好きな服や四季おりおりの服をデパートで買えるようになった。

これは後日話であるが、私たち5人兄弟姉妹はよく母に新しい衣服を買ってプレゼントするが、そんな時、母は着るのが惜しいと言って、新し

い衣服を箆笥の中に仕舞い込んでいる。

「お母さん、どうして新しい服を着ないんですか、気に入らないんですか。」と私たちが聞くたびに母はいつも「気に入っている、気に入っているよ、でもいまの服は破れていないし、着心地もいいし、それに新しい服を着て、家事をしても、相応しないよ。いつか出かけるときまた着ますよ。」と言っている。

実は母は毎年2、3回しか出かけるチャンスがない。であるから母にプレゼントした服はほとんどが箆笥の中に寝ている状態である。日本風に言えば、箆笥のこやしとでもいうのであろうか。

(4.4) 1990年から現在まで： 毎日着替えるようになった時代

1990年代に入って、服をたくさん買って、毎日着替えるようになった。それに服の質もよくなり、好きなもの、値段のわりと高いものも買えるようになった。今部屋のいたるところに服があって、多すぎるほどある。

5. 家庭設計

私と夫は1978年に結婚して、家庭設計を立てた。一番買いたかったのは20インチのカラーテレビであった。その時20インチのカラーテレビは1台で2800元もしていた。私と夫の給料は毎月あわせて90元であったから、3年間の収入にあたる。そこで、二人で相談して、生活設計を立てた。給料内で、生活費を賄い、その上友人との交際、親孝行などができること。テレビを買うなら、毎月30元ずつ貯金すること。そうすれば、10年後20インチのカラーテレビが買えるかもしれない、と。

ところが、変化が起こった。1982年から1984年まで私は教育部（文部省）の派遣で、2年間中国語を教えるべく来日する機会を得た。

日本の品物は本当に安かった。そのときの為替レートは1万円で70元であった。

例えば、日本製の20インチのカラーテレビは日本では6万円で、人民元に兌換したら420元であった。つまり中国での代金2800元の7分の1ぐらいの安さである。

また1万5千円の精工社の時計は日本でとてもいい時計であるが、中国でも評判のいい高級時計であった。同じメーカーの時計が中国では800元もしている。1万5千円は人民元にして105元である。

またステンレスの自転車は日本では3万円で、人民元にしたら210元である。だが、中国では1000元ぐらいの値打ちのものである。

5万円の冷蔵庫も同様である。人民元にしたら350元であるが、中国で同じものは2000元ぐらい払わないと買えない。

比べれば比べるほど、日本の品物はめっちゃうちゃ安いと実感した。2年間貯えた100万円の貯金は全部こちらで消費した。服、生活用品、電化製品などほしいものはほとんど日本で買った。2回の船便で、あわせて3.5立方メートルの品物を中国へ送った。結婚時に立てた10年間の計画は、10年で計画の10倍以上の成果を収めたのである。

6. 冠婚葬祭の祝儀の金額

中国では、今日でも血縁関係を中心とした人間の付き合いを大切にしている。私の育った北京市郊外の通州区宋庄镇小堡村はもちろん、北京市内に住むようになってからでもそうである。

1950年代と1960年代、私はまだ幼い時に冠婚葬祭の祝儀の金額はどのぐらいあったか、結婚お祝いとして、何を送ったか記憶も経験もなかったが、結婚した1978年から2002年までにどうだったかを、自家や親戚の冠婚葬祭の帳簿（注③）を調べてみると、その変化は次の表に示されるようになる。

冠婚葬祭の祝儀

年月日	戸数	現金	品物の貨幣価値	品 物	平均／戸
1978. 5. 6	54戸	128元	90元	布11枚55元 シャツ1件10元 魔法瓶1本10元 糸の絨毯1枚15元	4.03元
1981.12.31	21戸	67元	68元	掛け布団の表3枚30元 布4枚20元、上着1枚10元 枕カバー1対3元 シャツ1件5元	6.42元
1982. 1.26	28戸	101元	33元	掛け布団の表3枚30元 洗面器1個3元	4.79元
1982.10.16	54戸	171元	88元	布10枚50元、下着2枚10元 枕カバー3対9元 洗面器3個9元 魔法瓶1個10元	4.80元
1986. 2.28	88戸	916元	137元	布9枚45元 お菓子16箱80元 果物2分10元 紙1分2元	11.97元
1986. 5. 1	35戸	158元	85元	掛け布団の表3枚60元 シーツ1枚25元	6.94元
1986.10. 1	96戸	545元	397元	高級魔法瓶1本20元 魔法瓶17個170元 洗面器10個30元 掛け布団の表:8枚160元 枕カバー:4対12元 お菓子:1箱5元	13.95元
1992.11.27	130戸	3460元	970元	布27枚810元 お菓子7箱70元 果物9分90元	34.08元
1999. 3.20	22戸	6350元			288.64元

2002. 3.24	17戸	2300元			135.29元
2002. 6. 9	96戸	16850元		掛け布団の表1枚20元	175.73元
2002. 8.18	13戸	23600元			1815.38元

この表を見て、私もびっくりした。冠婚葬祭の祝儀の金額は年々増えてきている。1978年代以来人々の家に蓄積された資産がほんとうに大きくなったのを感じる。

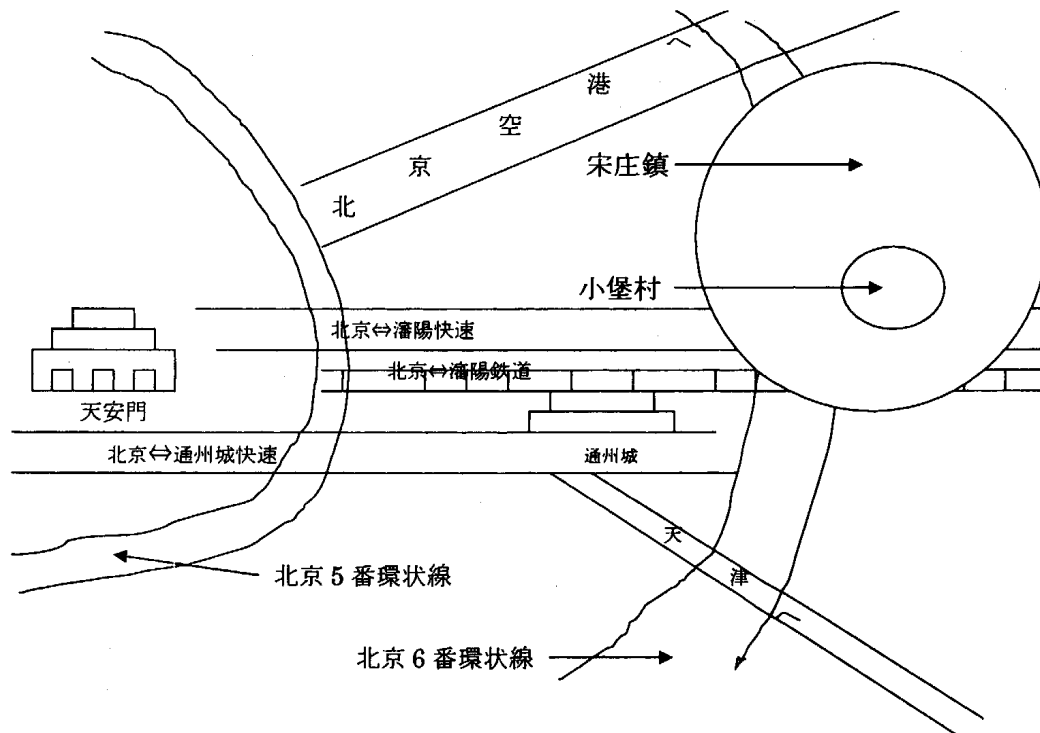
あとがき

以上、私は1. 食糧事情、2. 資金状況、3. 肉食、4. 服飾、5. 家庭設計、6. 冠婚葬祭の祝儀の金額について、解放後中国の社会と経済のあり方を私自身の身の回りの限られた視座から見てきた。そして、解放後、とくに1970年代以後、目も眩むほどの大きな変化が現れてきたことを知った。その原因を問う時、父に代表される農民の労働に負うことが大きかったことは改めて述べるまでもない。だが、決定的な変化は中国政権の政策の変化である。これは見逃しえないことである。とくに1978年に改革開放政策が実施されて以来、中国の経済は急速に成長し、総合的国力は著しく増強した。そして、何よりも人民の生活が改善され、人々の考え方も更新された。もちろん、発展途上の中国にはまだまだいろいろな問題が山積している。しかし、これらも今後少しずつ解決できるに違いないと私は信じている。

注：

①私の村

私の村は北京東の郊外通州区宋庄镇小堡村である。天安門から24キロ、北京空港から2キロ、天津港から120キロ、通州区から4キロ。



②私の履歴

1949.11.21 北京市通州区宋庄镇小堡村に生まれ

学歴

1957.9 北京市通州区宋庄镇小堡小学校入学

1961.9 北京市通州区宋庄镇小学校入学

1963.9 北京市通州区宋庄中学校入学

1970.10 北京清华大学日本語学部入学

職歴

1974.3～1978.10 北京清华大学電子学部 日本語と初級英語を教える

1978.10～現在 北京第二外国语学院 日本語を教える

来日歴

1982.3～1984.3 日本大阪 駿台観光&外語専門学校

中国語と中日翻訳を教える（中国教育部の派遣により）

1989.4～1990.4 日本京都 京都外国語大学

日本語の教授法の研究（交換研究員）

1994.4～1995.4 日本豊橋 愛知大学 中日文法の比較（交換研究員）

1999.3~2000.3 日本横浜 横浜商科大学 中国語を教える（交換教授）

2000.3~現在 日本横浜 横浜商科大学

中国語と日本語を教える（交換教授）

③私の家と親戚たちの冠婚葬祭の帳簿

（3.1）祝贺○○○ ○○○結婚 1978年5月6日（阴历3月30日）

崔士甫 2元 汗衫1件 线毯1条 郑杨庄 2元 布1块 云贵清 2元 布1块
刘玉贵 2元 布1块 王齐集 2元 布1块 聂玉才 2元 布1块
乔德才 2元 布1块 裴大成 2元 布1块 张殿英 2元 暖瓶1个
刘洪瑞 6元 崔振明 5元 尹承瑞 5元 王洪均 5元 崔士平 5元 邓存禄 5元
宋善增 5元 宋善敬 5元 王淑荣 3元 崔士明 3元 崔士章 3元 王泽才 3元
崔士福 3元 胡连旺 3元 王 林 3元 杨胡氏 2元 王长良 2元 宋善之 2元
邓福顺 2元 王振库 2元 宋善同 2元 王振华 2元 宋如英 2元 宋如祥 2元
宋明宽 2元 宋善读 2元 范同仁 2元 王长典 2元 宋明友 2元 宋善兰 2元
范士贵 2元 宋长海 2元 张西山 2元 宋善公 2元 宋善合 2元 宋善文 2元
王松林 2元 邓德力 1元 金玉华 1元 刘尚忠 1元 张永福 1元

王洪海 缎子布1块 宋世贵 线缙布1块 乔新 花布1块 刘淑英 花布1块

现金：41人（6元×1 5元×7 3元×7 2元×22 1元×4）

钱衫毯：1人（2元×1） 钱布：7人（2元×7） 钱瓶：1人（2元×1） 缎子：1人

线缙：1人 花布：2人

总计：参加人数：54人 共收现金：128元 布匹：11块 汗衫：1件 线毯：1块

暖瓶：1个（原帐本上是：布10块 枕套1对）

（3.2）祝贺○○○ ○○○結婚 1981.12.31

陈桂连 2元 被面1条 上衣1件 宋善旺 5元 被面1条 米秀林 2元 被面1条
崔玉兴 3元 布1块 崔玉发 3元 布1块 崔玉安 2元 布1块
崔玉光 2元 布1块 崔士甫 3元 枕巾1对 崔玉周 衬衣1件

崔玉香5元 崔玉丰5元 杨宝齐5元 周庆丰5元 王振海5元 杨世华5元(小邓)
崔玉田3元 崔玉如3元 崔光宗3元 米书田2元 李宝厚2元 杨宝田2元
钱被衣：1人(现金：2元 $2元 \times 1人$ 被面：1条 $1条 \times 1人$ 上衣：1件 $1件 \times 1$)
钱被：2人(现金：7元 $5元 + 2元$ 被面：2条 $1条 \times 2人$)
钱布：4人(现金：10元 $3元 \times 2人 + 2元 \times 2人$ 布：4块 $1块 \times 4人$)
钱巾：1人(现金：3元 $3元 \times 1人$ 枕巾：1对 $1对 \times 1人$)
现金：12人 45元 (现金： $5元 \times 6人 = 30元$ $3元 \times 3人 = 9元$ $2元 \times 3人 = 6元$)
衬衣：1人(衬衣：1件 $1件 \times 1人$)
总计：
参加人数：21人 现金：67元 被面：3条 布：4块 枕巾：1对 上衣：1件 衬衣：1件

(3.3) 祝贺○○○ ○○○结婚 1982.1.26

周庆龙5元被面1块 宋善旺5元被面1块 陈桂连2元被面1块
崔玉香2元脸盆1个 舒宝金10元
崔玉田5元 崔玉发5元 崔玉兴5元 崔玉周5元 杨宝歧5元 崔世甫5元
杨明生5元 崔玉光5元 王振海5元 崔玉如5元 崔玉丰3元
米淑田2元 米秀林2元 刘俊才2元 崔玉安2元 杨胡氏2元 杨宝田2元
崔正文2元 崔光宗2元 刘崑元 刘崇2元 刘兰2元 赵闫林2元
钱被：3人 (现金：12元 $5元 \times 2 + 2元 \times 1$ 被面：3块 $1块 \times 3$)
钱盆：1人 (现金：2元 $2元 \times 1$ 脸盆：1个 $1个 \times 1$)
现金：24人 (现金：87元 $10元 \times 1 + 5元 \times 10 + 3元 \times 1 + 2元 \times 12$)
总计：参加人数：28人 现金：101元 被面：3块 脸盆：1个

(3.4) 祝贺○○○ ○○○结婚 1982年10月16日 (阴历8月30日)

牛玉松20元 贾宝华20元 郑雨思10元
崔士甫 5元 张亲戚 5元 邓德福 5元 宋善静5元 郑德全5元 范同仁5元
尹永瑞 5元 贾振平 5元 王振库 3元 王林3元 宋明宣3元 宋广福2元

宋善读 2元 张家福 2元 宋如祥 2元 张电松2元 刘海金2元 张西山2元
 范士贵 2元 王振忠 2元 王振生 2元 宋善之2元 王永海2元 宋善兰2元
 宋明玉 2元 宋善发 2元 宋明贵 2元 宋如英2元 邓德全2元
 云贵清 3元 红布1块 刘玉贵 2元 红布1块 李书伶5元 红布1块
 崔玉禄 5元 红布1块 王洪军 2元 红布1块 王书伶5元 红布1块
 宋善和 3元 秋衣1件 宋善功 2元 秋衣1件 王 森2元 枕巾1对
 张电英 2元 脸盆1个 宋善举 2元 脸盆1个 宋善增3元 脸盆1个
 孙振明 红布1块 宋善珠 红布1块 宋明良 红布1块
 宋张氏 枕巾1对 宋明桂 枕巾1对 高老师 暖瓶1个

公义：孙老师 曹淑云 贾老师 宋淑云 挂红布1块

现金：32人135元（20元×2 5元×8 3元×3 2元×18）

钱红：6人 22元（5元×3 3元×1 2元×2）钱衣：2人5元（3元×1 2元×1）

钱巾：1人 2元（2元×1） 钱盆：3人7元（3元×1 2元×2）

挂红：3人 枕巾：2人

暖瓶：1人 公益：4人 挂红1块

总计：

参加人数54人 现金171元 挂红10块 秋衣2件 枕巾3对 脸盆3个 暖瓶1个

（3.5）祝贺○○○ ○○○结婚 1986.5.1

宋善旺10元被面1块 陈桂连5元被面1块 米书田2元被面1块

米秀林2元床单1块 郭德祥20元 孙振明10元

刘 宽5元 崔玉周5元 崔玉香5元 崔玉田5元 崔玉丰5元 崔玉光5元

崔玉兴5元 崔玉发5元 崔玉安5元 崔世甫5元 周庆丰5元 刘国瑞5元

王振海5元 杨宝歧5元 杨家祥4元 崔光武3元 崔光明3元 崔光富3元

李宝存3元 杨胡氏3元 崔光晨3元 李学明3元 刘 松2元 赵闫林2元

金世友2元 刘 崇2元 苏宝田2元 崔西朋2元 任庄亲家2元

钱被：3人（现金：17元 10元+5元+2元 被面：3块 1块×3）

钱单：1人 (现金：2元

床单:1块)

现金：31人 (现金：139元 $20元 + 10元 + 5元 \times 14 + 4元 + 3元 \times 7 + 2元 \times 7$)

总计：参加人数：35人 现金：158元 被面：3块 床单：1块

(3.6) ○○○ ○○○ 结婚之喜 1986.10.1

张玉军30元 李明刚20元 张书美20元 李国明20元 李存山10元 李刚10元
耳宝玉10元 尚德利10元 李存良10元 刘复来10元 李金成10元 么文珍10元
张彩付10元 李存才10元 李双喜10元 李存信10元 孙永生10元 李凤林10元
李德青10元 李东霞10元 李长珍10元 李德亮10元 李德才10元 李存忠10元
李存荣10元 李存喜10元 柏顺福10元 李成10元 李金山10元 李存明10元
王玉敏10元 李存友10元 李德洪10元 李风文10元 孙文友 5元 刘亚珍 5元
刘月杉 5元 明宝章 5元 刘友丛 5元 刘复兰 5元 梁胜金 5元 李振英 5元
赵春韭 5元 韩振兴 5元 刘友深 5元 李国全 5元 刘复荣 5元 孙永贵 5元
尚明 5元 刘友康 5元 张贵林 5元 李东方 5元 李东羊 5元 孙文付 5元
张国庆 5元 李存贵 5元 李存香 5元 郭成 软缎被面 1个、10元

马玉荣 被面1个、5元 王敏 被面1个、5元 郭忠 被面、点心盒1个

柯娇兰 软缎棉被面1块 冯振友 保温瓶2个 靳风云 气压暖瓶1个

张善 暖瓶1个 刘文印 暖瓶1个 邱文全 暖瓶1个 刘志明 暖瓶1个

李德英 暖瓶1个 韩方君 暖瓶1个 李凤山 暖瓶1个 蒋福全 暖瓶1个

李存祥 暖瓶1个 李存顺 暖瓶1个 赵大水 暖瓶1个 张文瑞 暖瓶1个

秦百山 暖瓶1个 陆秀英 暖瓶1个 郭德瑞 暖瓶1个 刘复安 脸盆1个

刘文寿 脸盆1个 韩文志 脸盆1个 蒋福来 脸盆1个 周文龙 脸盆1个

王凤明 脸盆1个 柯瑞增 脸盆1个 邱文福 脸盆1个 刘玉梅 脸盆1个

王淑会 脸盆1个 刘玉才被面1个 姚家军 被面1个 张兆付 被面1个

荣淑美 枕巾1对 刘复顺 枕巾1对 周福玲 枕巾1对 金凤霞 枕巾1对

现金：525元57人($30元 + 20元 \times 3 + 10元 \times 30 + 5元 \times 23$) 暖瓶：17个 (16人)

气压暖瓶：1人 脸盆：10人 枕巾：4人 现金和被面：3人 ($10元 \times 1 + 5元 \times 2$)

被面和点心：1人 被面：4人

总计：参加人数：96人 现金：545元 气压瓶：1个 暖瓶：17个 脸盆：10个

被面：8块 枕巾：4对 点心：1盒

(3.7) ○○○永垂不朽 公元1986年2月28日垂世(3月1日办事)

刘复来30元 蒋世臣20元 李国明20元 李刚20元 李诚20元 林德友20元
尹同祥20元 尚德利15元 孙永贵10元 孙承生10元 李存荣10元 刘文印10元
王敏10元 李凤林10元 李存香10元 李存忠10元 李德旺10元 李存良10元
李东方10元 李东良10元 李凤山10元 李长珍10元 李存信10元 陈长玲10元
李双喜10元 李存明10元 李金成10元 李存喜10元 郭德平10元 陆秀英10元
刘复生10元 李金山10元 李存才10元 杨顺祥10元 李存山10元 么文玲10元
张德贵10元 刘复安10元 杨顺福10元 毛永爱10元 邱文全 5元 李存有 5元
李德亮 5元 李德富 5元 李德清 5元 李德才 5元 刘友深 5元 李德洪 5元
李存祥 5元 蒋世强 5元 张秀梅 5元 朱俊兰 5元 陈茂林 5元 周文龙 5元
刘文生 5元 张文瑞 5元 刘复兰 5元 张桂林 5元 么维岐 5元 赵春生 5元
胡定章 5元 蒋世增 5元 刘文寿 5元 杨瑞增 5元

张玉金 帐子1块10元(合1个) 郭成 帐子1块50元(合1个)

张玉君 帐子1块10元 朱德山 帐子1块10元

张玉芬 帐子1块10元(合1个) 张淑美 帐子1块10元(合1个)

李存英50元(合1个) 牛德海20元(合1个) 郭文志 帐子1块 5元(苹果)

郭忠 帐子 1块10元(苹果) 张照富20元(合1个)

牛德兰20元(合1个) 姚家君50元(合1个)

郭德瑞 帐子1块(合1个) 李德录 5元(合1个)

孙文友 合1个纸 冯振友 合1个 马玉荣 合1个 李存顺 合1个 王茂永 合1个
华兄弟3人30元 刘殿生1元

现 金：68人636元(30元×1 20元×6 15元×1 10元×35 5元×24 1元×1)

布钱合：4人(50元×1 10元×3) 布钱果：2人(10元×1 5元×1)

布 钱：2人（10元×2） 钱合：6人（50元×2 20元×3 5元×1）
 布 合：1人 纸合：1人 合：4人
 总 计：88人 916元 9块布 16合 2份果 1份纸

（3.8）○○○母亲白喜事帐簿 1992年11月27日

徐进才100元 帐子1块 贡2份
 王 明 50元 帐子1块 贡1棹 王志芹 20元 帐子1块 贡1棹
 王国民 20元 帐子1块 贡1匣 崔玉禄 20元 帐子1块 贡1匣
 周宝金 20元 帐子1块 贡1匣 李志明 20元 帐子1块 贡1匣
 李 木 20元 帐子1块 贡1匣 徐进明 20元 点1匣 果1棹
 孟宪奎100元 帐子1块 宋明海 50元 帐子1块 盛如明 50元 帐子1块
 杜永顺 40元 贡1棹 孟长生 20元 帐子1块 孟长清 20元 帐子1块
 孟常林 20元 帐子1块 郭振明 20元 帐子1块 高 成 20元 帐子1块
 李华清 20元 帐子1块 刘建元 20元 帐子1块 魏 春 20元 帐子1块
 魏 恒 20元 帐子1块 王树永 20元 帐子1块 魏友来 20元 帐子1块
 王爱年 10元 帐子1块 金殿生 20元 贡1棹 王 平 20元 贡1棹
 牛万青 20元 贡1匣 张月增 帐子1块 贡1棹 闫 茹 帐子1块
 邓二玲 帐子1块 王文英 帐子0.4块 马桂芹 帐子0.3块 胡国秀 帐子0.3块
 胡德荣100元 郭长清50元 芦玉昆50元 牛和平50元 张玉福50元 牛玉贵50元
 张玉禄 50元 王永良50元 王永泉50元 郭 忠40元 崔有山40元 孟淑兰40元
 牛玉江 40元 牛玉恒40元 王秉相34元 王秉荣33元 王秉新33元 牛玉禄30元
 牛玉才 30元 牛玉斌30元 张月才30元 牛明东30元 韩亚云30元 张宝伦30元
 牛秀敏 30元 牛春兰30元 牛昭福30元 牛玉山30元 郭 成30元 李宝凤30元
 牛玉喜 30元 牛秀荣30元 周福田30元 张秀春30元 王秀兰30元 牛明启30元
 金桂才 30元 金桂元30元 徐进华30元 牛明实20元 牛玉华20元 贯连云20元
 杨玉明 20元 郭文喜20元 郭德宽20元 郭 孝20元 牛玉清30元 牛玉金20元
 郭德银 20元 张永方20元 张永林20元 张永刚20元 张永明20元 金桂明20元

张 茂 20元 郭文海20元 孟景泉20元 郭德泉20元 王永顺20元 郭文忠20元
郭秀敏 20元 高士奎20元 金桂玉20元 金桂福20元 郭连志20元 郭连营20元
郭连福 20元 郭连才20元 李之锁20元 郝洪清20元 刘德茂20元 杨金成20元
刘振光 20元 刘金禄20元 书玉华20元 牛秀兰20元 聂书英20元 顾秀香20元
宋士芳 20元 高士昆20元 牛秀红20元 金殿海20元 郭文合20元 陈楼林20元
陈彩瑞 20元 李宝山20元 郭永才20元 王文珍20元 金桂禄20元 郭文栋20元
芦万祥 20元 杨长海20元 郭 荣20元 牛玉福20元 郭文华10元 牛玉生10元
赵文才 10元 王文志10元 张瑞香10元 陈秀杰10元 郭德刚10元

现金：101人 2640元 (100×1 50×8 40×5 34×1 33×2 30×23 20×54 10×7)

钱帐果点：1人 (100×1) 钱帐果：2人 (50×1 10×2)

钱 帐 点：5人 (20×5) 钱点果：1人 (20×1)

钱 帐：15人 (100×1 50×2 20×11 10×1) 钱果：3人 (40×1 20×2)

钱 点：1人 (20×1) 帐果：1人

参加人数：130人

总共接收：现金：3460元 帐子：27块 贡点：7匣 贡果：9棹

(3.9) ○○○白喜事之礼 1999年3月20日

孙振明1000元 郭德祥1000元

崔士甫 500元 崔玉禄500元 郭 成500元

宋善婷 200元 周宝金200元 王洪军200元 宋明辉200元

宋善荣 100元 刘淑英100元 牛玉松100元 崔桂伶100元

长5人 1000元 职3人 600元 牛玉宝 50元

参加人数：69人 (以上各家共39人 宋善贵7人 宋善龙4人 崔长顺3人

崔长宝3人 崔长宏3人 崔长河3人 崔长友3人 自家4人)

共收现金：6350元

(3.10) ○○○3周年忌日 2002年3月24日

郭 成200元	郭德祥200元	孙振明200元	宋善婷200元	崔士甫200元
崔玉禄200元	王洪军100元	宋善荣100元	刘淑英100元	宋善贵100元
崔长顺100元	崔长宝100元	崔长宏100元	崔长和100元	崔长友100元
周宝金100元	牛玉松100元			

参加人数：53人 共收现金：2300元

(3.11) 祝贺○○○ ○○结婚 2002年6月9日

崔秀英1000元	宋明海1000元	崔玉华1000元	宋 刚1000元	刘 新1000元
崔玉福1000元	崔玉禄1000元	周宝金1000元	牛玉宝 300元	牛玉泉 300元
郭德喜 200元	孟宪奎 200元	牛玉德 200元	张玉录 200元	王永全 200元
徐 进 200元	牛玉成 200元	郭 成 200元	孟长清 200元	赵力华 200元
牛玉福 100元	王 余 100元	牛明东 100元	郭和平 100元	牛玉禄 100元
芦义崑 100元	孟淑伶 100元	牛明山 100元	郭文秘 100元	牛玉才 100元
牛玉江 100元	郭长青 100元	熊少发 100元	牛玉贵 100元	高士崑 100元
郭文军 100元	高德贵 100元	牛秀敏 100元	高士庆 100元	牛秀红 100元
贯连云 100元	孟长林 100元	牛玉恒 100元	芦万利 100元	陈宝栏 100元
金殿海 100元	牛召福 100元	王连华 100元	牛玉清 100元	牛秀荣 100元
孟长生 100元	牛明超 100元	郭文东 100元	牛玉喜 100元	李奇军 100元
牛东海 100元	郭德生 100元	郭 荣 100元	牛玉清 100元	吴振文 100元
张永林 100元	徐玉萍 100元	何凤民 100元	张作民 100元	张长友 100元
张金声 100元	郭文华 100元	三舅家老二 100元	张永刚 100元	被面1条
陈宝全 50元	高停宝 50元	牛雅东 50元	牛玉华 50元	郭 忠 50元
孟庆全 50元	郭文和 50元	高士奎 50元	宋士和 50元	杨昌海 50元
王文连 50元	郑 莉 50元	郭俊荣 50元	郭丽丽 50元	牛玉顺 50元
郭秀华 50元	金贵才 50元	牛明富 50元	郭德发 50元	郭德业 50元
郭德瑞 50元	郭德禄 50元	郭德刚 50元	周开福 50元	柴仁兴 50元
王文志 50元	王瑞清 50元			

现金：95人 16750元(1000×8 300×2 200×10 100×48 50×27)

钱被：1人100(100×1)

总计：参加人数：96人 共收现金：16850元 共收被面：1条

(3.12) 祝贺○○ ○○结婚及留学之喜 2002年8月18日星期日

牛玉松7200元 崔玉福3200元 周宝金2200元 郭德祥2000元

孙振明1200元 崔玉禄1200元 米秀香1100元(姥姥)

崔士甫1000元 崔长顺1000元 郭成1000元 孙博爷1000元 周桂清1000元

崔长河 500元

参加人数 38人

共收现金 23600元